

おはようございます。今年も早いもので、はや1か月が過ぎました。どんな生活が送れていますか。3年生は、1月末から家庭学習の期間に入りました。いよいよ、ここにいる皆さんが高砂南を引っ張っていく番になりました。

今日話をしようと思っている内容は、2学期末の12月に行われた生活実態・学習状況調査の結果についての内容です。1年生から3年生まで、それぞれ1クラスが調査に答えてくれました。

「良い成績をとれるよう、勉強したい。」という質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人は、92%。「入学試験や就職試験に役立つよう、勉強したい。」に対しては、95.5%。大部分の人が、勉強することの大切さを感じています。

ところが、授業以外の学習時間をみると、1、2年生では「30分未満」の人は全体の23%。「30分から1時間」、「1時間から2時間」がほぼ同数で、合わせて60数%、2時間以上が約15%という結果でした。

それに対して、3年生は、「2時間未満」の人は、13%。「2時間から3時間」の人は18%、「3時間以上」の人は、69%でした。

皆さんは、この結果をどのように受けとめますか。1、2年生は、それくらいが普通で、3年生になって増えるのは当たり前なのでしょうか。「3年生はさすがだな!」と、ただ感心しているのでしょうか。部活動をやっているのに、勉強は無理と思っているのでしょうか。部活動を頑張っている人は、なかなか時間が十分にはとれないかもしれません。でも、授業は大切です。国語や英語の予習をして授業に臨んだり、数学などの復習に取り組んでおかないと、引退した後に、苦しい状況になっています。

調査結果から、「時間を決めて、勉強時間を確保して欲しい」と思いましたが、それよりも、「勉強が大切だと思っているのに、なぜできていないのか」、そのことがとても気になりました。これからの人生、たくさんこうしたい、こうなりたいと思うことがたくさん出てきます。そんなとき、皆さんはどうするのでしょうか。自然とそうなるのを期待して待っていて、実現するのでしょうか。当然、皆さんも分かっているとおり、そんな態度では何も実現しません。

「何もしないよりは、失敗した方がまし」ということを聞きますが、失敗からたくさんのことを学べます。「まし」ではなく、挑戦したことが素晴らしいことだと思います。皆さんには、思ったことを実現するために挑戦する。思ったことに実際に取り組んで欲しいと思っています。

ところで、1月に皆さんの素晴らしい面を見ることができました。

2年生は修学旅行で素晴らしい姿を見せてくれました。スキーやスケートボード実習などにしっかりと取り組んでくれました。また、時間を守ったり、気持ちの良いあいさつをしたり、クラスや部屋の仲間としっかりと生活をするなど、責任ある行動をしてくれました。本当に嬉しく思いました。3年生が卒業しても、2年生がしっかりと高砂南の良い伝統づくりを進めてくれると確信しています。

また、1年生の生徒会メンバー4名が、1月28日に行われた「兵庫県高等学校魅力・特色づくり活動発表会」に参加しました。県下から、30数校が集まって、自分の学校のPRを行う会です。1年生だけの発表だったので、心配していたのですが、社会奉仕活動や学校行事を中心に頑張っている様子を、堂々と発表してくれました。本当に頼もしく感じました。

2年生も、1年生も、素晴らしいものを持っていると感じています。あとは、自分にとって必要なもの、やりたいことに取り組むだけです。先生方は、頑張る皆さん、一人一人を応援していきたいと思っています。いろいろなことに挑戦してください。